

# 知が<sup>ひら</sup>啓く。

保護者・教育に関わるみなさまへ







# 知 が 啓 く 。



子どもたちの机はいっぱいだ。

算数・理科・国語・英語・社会・…  
問題でいっぱいだ。

それは時に環境問題であり、国際問題であり、  
人生の問題だったりもする。

教科書に答えは載っていない。  
しかし、正しい答えをみちびく道の作り方は教えてくれる。  
教室はタイムマシンにも  
ロケットにも、異次元空間にもなる。

子どもたちの、  
そして私たちのこれからをひらく本。  
新しい世界をひらく本。  
問題に答える 1 冊をこれからも。



# 新教育課程のスタートにあたって

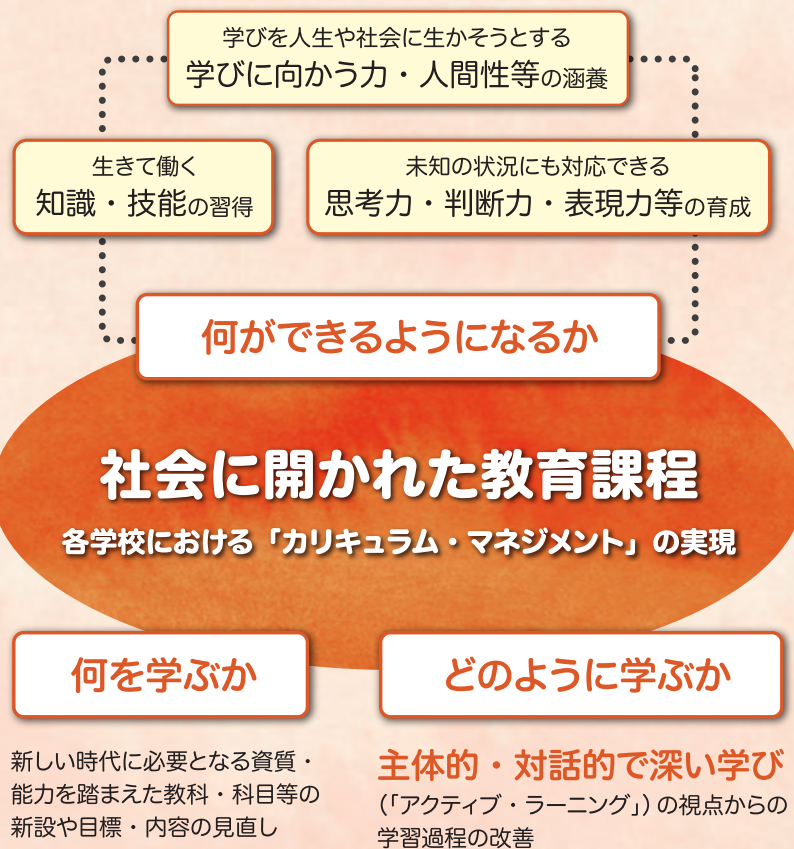
～未知の状況にも対応できるように～

## はじめに

2020年4月の新教育課程完全実施まで、あと1年を切りました。

中央教育審議会答申\*で引用された「子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就く」との予測に象徴されるように、私たちは、予測困難な時代に生きています。このような時代に向けて、今回の学習指導要領改訂では、右図のような改善の方向性が挙げられました。

\*文部科学省、2016年



## 主体的・対話的で深い学び

今回、すべての教科等の授業改善に、「主体的・対話的で深い学び」の視点が求められています。

特に「深い学び」については、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解する、問題を見いだして解決策を考えるなどが、具体的に示されました。

これらの視点から優れた授業改善が実現し、確かな資質・能力を育成することができます。



# カリキュラム・マネジメント

新しい時代に必要な資質・能力を育むために、子どもたちの姿に基づくカリキュラム編成や、教科横断的な視点などの工夫が、各学校に求められています。

## ●スタートカリキュラム

小学校生活の始まりに、多くの学校で生活科を核として実施が進むカリキュラムです。今回の新教育課程では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明示され、幼児期の遊びを小学校での学びにつなげることがさらに重視されています。



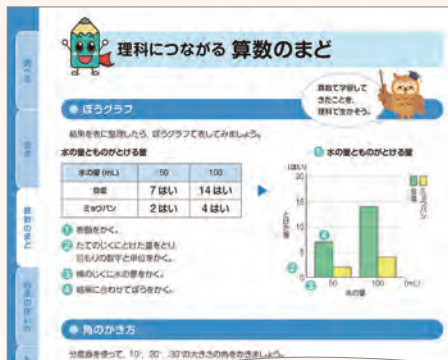
▲スタートカリキュラム（生活上・巻頭）



▲スタートカリキュラム（算数 1年・巻頭）

## ●教科間連携

小学校入学当初だけでなく、すべての学年で、各教科等の内容を相互に関連付けて組み立てることで、より効果的な学びにつながっていきます。



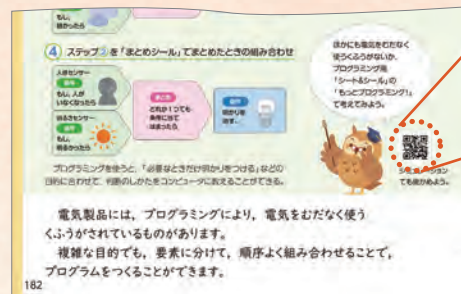
▲教科間連携（理科 5年・p180）

# プログラミング的思考

「小学校におけるプログラミング教育必修化」も関心の高いトピックです。小学校段階では「身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことを重視」することが示され、具体的な単元等は、算数や理科で例示されました。



▲Pマーク  
プログラミングの思考が  
育める活動のマーク  
(算数 5年・p236)



◀シミュレーション  
でも確かめよう  
(理科 6年・p182)

## ●実際の活動を通して プログラミング的思考を育成

巻末の切り取り教具（算数）や「プログラミング用シート＆シール」（理科）を使ったり、QRコードからアクセスできるデジタルコンテンツを用いたりすることで、より体験的な学習を展開できます。

# 学力の保障と向上

～子どもたちの力を確実に伸ばすために～

4月の教科書との  
出会いを大切に！

学年当初に「学びのナビゲーション」にあたる紙面を設定し、子どもたちを主体的な学びの確立へと導きます。



▲理科 3年・p4-5

算数

「教科書の使い方」  
「学習の進め方」  
「わくわく算数学習」  
「わくわく算数ノート」

丁寧な解説で、1年間の学習に子どもたちが自身が見通しをもって取り組みます。

理科

「見つける」「調べる」「ふり返る」のステップを可視化し、問題解決の能力を高めます。  
また、「はじめに考えてみよう」「もう一度考えてみよう」の対比から、自分の成長を実感できます。

本編中にも  
使いやすさがいっぱい



▲生活下  
p63・p65

生活

紙面右下の「めくり言葉」で次の活動への思いや願いの例を示し、活動の連続性や広がりをサポートします。

内容のまとめごとに「めあて」を明示したり、学習の流れを「見える化」したりすることで、より学習が焦点化され、自らめあてをもって、集中して学習に取り組めます。



算数

「めばえ」→「めあて」→「まとめ」  
「めばえ」は新しい学習につながる考えや気づき。「めあて」はその学習の大事なポイント。「まとめ」は学習したことの定着を図ります。



▲英語 5年・p31



▲英語 5年・p32

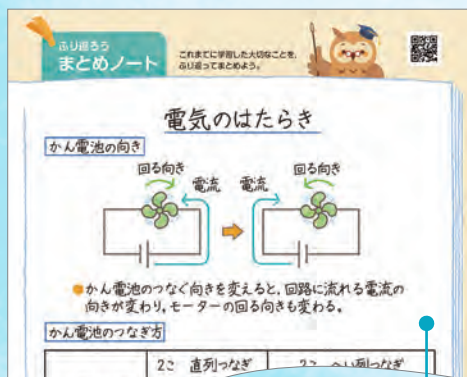
英語

「GOAL」「めあて」「バロメーター」  
扉にはユニット全体の「めあて (GOAL)」を明記し、できるようになりたいという意欲を高めます。  
また、Part ごとの「めあて」と「バロメーター (できたかな?)」で、子どもが自分で学びの達成度を確認できます。

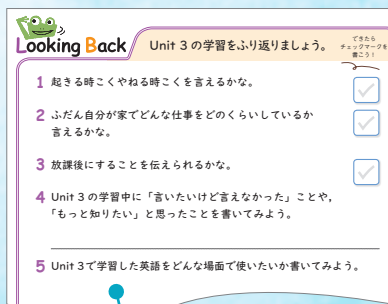


# 内容の理解と定着

学習内容を理解し、それを定着させるには、「学習の入口と出口」が重要です。  
 啓林館では、「レディネス・チェック（これまで学習したことの復習）」と  
 「ふり返し」の場を十分に確保しました。



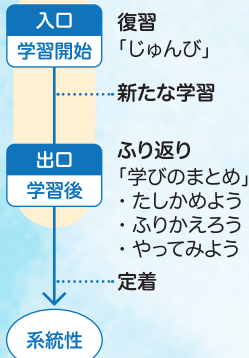
▲理科 4年・p41



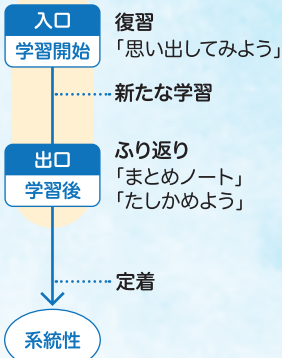
▲英語 5年・p38

## 重視した「学習の入口と出口」

### 算数



### 理科



### 英語

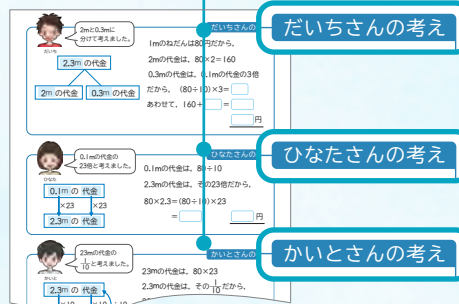


# 見方・考え方

教科ごとの「見方・考え方」を大切にして、  
 確かな資質・能力を育みます。

## 算数

筋道を通して考える能力を大切にしています。また多様な考え方に触れる場面を  
 充実させ、主体的・対話的で深い学びを  
 実現します。



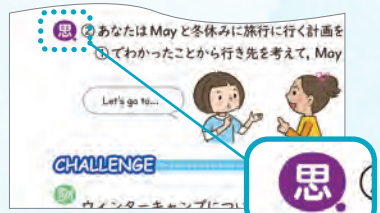
▲算数 5年・p36

## 理科

「理科をふり返ろう～理科の見方～」  
 「理科の考え方をはたらかせよう」

## 英語

「REVIEW」には、各学期のまとめの  
 活動を設定しています。特に場面や状況  
 を考え判断する問題には「思考力マーク  
 思」を付け、深い学びへとつながります。

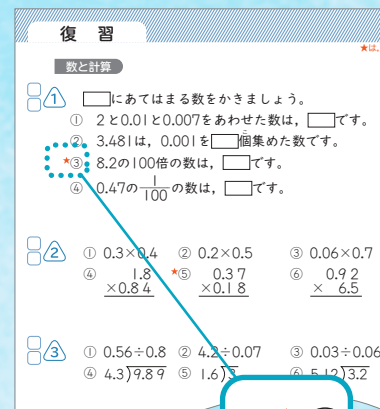


▲英語 5年・p73

思考力マーク

# 全国学力・ 学習状況調査 等の分析から

各種学力調査の出題内容や調査結果の傾向を丁寧に分析。課題が認められる問題そのものだけでなく、その問題につながるまでの学習内容・学習経験も含めて系統的な検討を行い、教科書紙面に反映させました。



▲算数 5年・p98

★③

間違いやすい  
問題

各単元の復習で、「間違いやすい問題」には★マークを付けて注意を促しています。

# 教育の機会均等

～すべての子どもたちが支障なく学ぶために～

## ユニバーサル・デザイン



▲算数 3 年下巻・p58

色覚の個人差を問わず、誰もが紙面の内容を判別しやすい配色に。また、色だけで区別するのではなく文字情報も添えるなど、ユニバーサル・デザインに配慮しています。



個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会 (MUD協会) の認証を申請中です。

教育基本法第3条では、「教育の機会均等」として「すべての国民は、ひとしく、その能力に応ずる教育を受ける機会を与えられなければならない」とあります。特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての子どもたちが支障なく学習できる環境づくりをめざし、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育（共育）に配慮しました。

## UDフォント

### ●和文

かきましよう。

本文にはUD デジタル教科書体を、その他の文章にも国語科での文字指導に即した点画の正しいフォントを採用。

大文字と小文字どちらの指導にも適しています。

### ●欧文



4 線の幅は、3 年生でのローマ字の学習や中学校で一般的に使われている4線に近い5:6:5の比率を採用。nとhなど紛らわしい文字の区別がはっきりわかり、大文字のEも4線に合わせて書くことができます。

本文のフォント(書体)は、太さの強弱を抑え、とがった部分を選んだ優しいデザインの「UD デジタル教科書体」を採用。視覚の個人差などで、学習の理解が影響されることのないようにしています。

UD FONT

誰もが識字しやすいように、読みやすく開発されたUDフォント（ユニバーサル・デザインフォント）を採用しています。

## 学習者用 デジタル教科書

紙の教科書と同一の内容で構成した、学習者用デジタル教科書を発刊。紙面の拡大表示・文字や背景の配色変更・漢字のルビ・文章の読み上げなどの学習支援機能を充実させることにより、児童一人ひとりのニーズに応えます。

生活上・p60



▲配色変更後

※画面や機能は開発中のため、変更になる場合があります。



## 擴大教科書

弱視児童への配慮として、通常の教科書の文字や図形、イラストなどを大きく読みやすくした教科書です。

啓林館の教科書全学年で発行します。

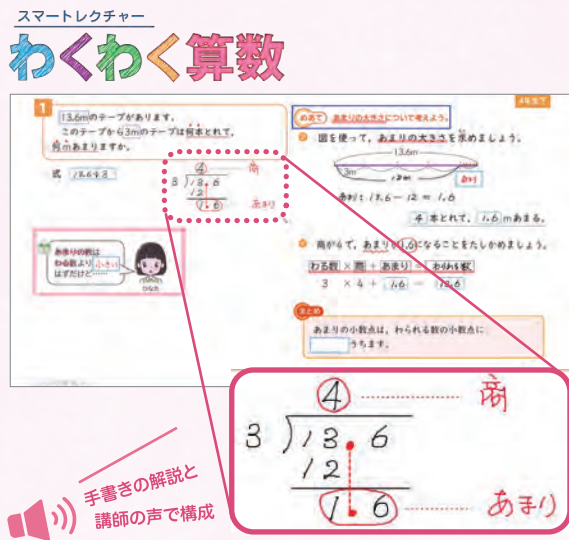


※上記は平成27年度用の拡大教科書紙面です。

## 学習動画

# スマートレクチャーわくわく算数

教科書「わくわく算数」に掲載している問題を解説した、無料の動画コンテンツです。1年生から6年生までのコンテンツを視聴できますので、授業で習ったことの確認や既習のふり返し、まだ習っていない問題にもチャレンジできます。

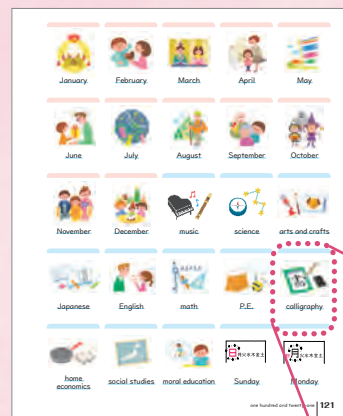


病欠期間中の  
サポート教材、  
院内学級向けの  
コンテンツとしても  
活用できます。

- インターネット環境があれば、どこでも学習できます。

## 用紙・印刷・製本

教科書の軽量化には検討を重ね、軽量で印刷が鮮明な用紙を厳選し、大きな判型（ＡＢ判）でも開きやすく丈夫な「あじろ綴じ」の製本を採用しました。また、植物油インキや再生紙を使用して、アレルギーや環境にも配慮しています。



▲英語5年・p121(カード)



英語の教科書の  
巻末には、  
ミシン目に沿って  
切り離せる  
絵カード付き。

# 働き方改革へのサポート

文部科学省の「教員勤務実態調査」により、先生方の長時間勤務の実態が明らかになり、学校における働き方改革が急務となっています。子どもたちを育成するため、日々熱心に取り組む先生方。その多忙な業務を、啓林館はサポートします。

## ●ICTを活用して学びを広げる

### QRコード

子どもの学びやすさと先生の指導のしやすさを重視。すべての児童が一律に学習する必要はない参考情報は、タブレットやPC、スマートフォンなどで読めるように紙面の要所にQRコード\*で提供しています。アクセス先の目次からは、全学年の情報を閲覧でき、学校でも家庭でも、子どもたちの主体的な学びを発展させるのに役立ちます。



\*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

## ●啓林館ならではのラインナップ

### 教師用指導書

教科書全ページの縮版に指導の流れに沿って留意点を掲載して、授業を円滑にし、子どもたちへの定着を図ります。生活科では「保幼小連携」「スタートカリキュラム」などを設定するほか、特別な支援が必要な子どもにも対応できるように紙面を割いて解説しています。



算数 理科

別冊  
板書ブック  
板書例を掲載。授業計画や指導案の作成の参考になります。



理科

安全ハンドブック  
(総説別冊)  
安全指導から薬品管理までを解説。  
  
実験事故防止  
動画集  
実験事故防止のポイントを手軽に確認できる動画集。



4教科

総説 ※算数・理科・生活・英語  
教科書の記述の背景にある考え方、教育史など、指導にあたり知っていただきたい情報をまとめています。



生活

別冊  
スタートカリキュラム編  
カリキュラム作成の基本から実践事例などを掲載しています。

※その他のラインナップは各教科の内容解説資料をご覧ください。

英語

パフォーマンス  
評価例  
パフォーマンス評価のための映像資料集。

発音トレーニング  
ソフト  
PC・タブレットを使って、自らの発音を手軽にチェックできます。

※制作中につき、内容・仕様が変更になる場合があります。価格は未定です。



## 啓林館 ホームページ

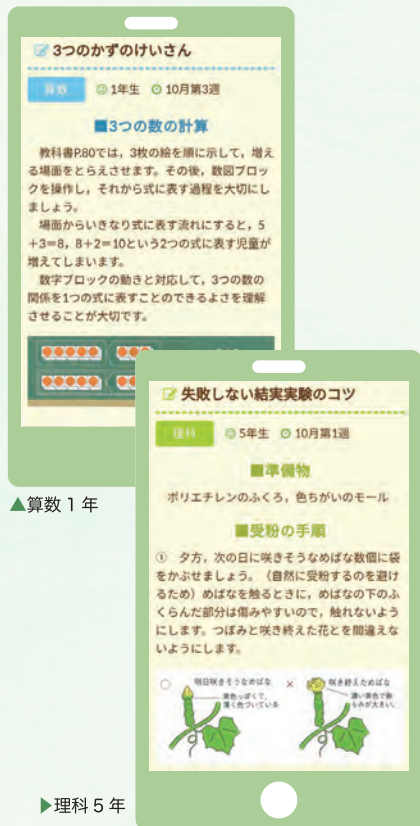


※画面は制作中につき、予告なく変更する場合があります。

新興出版社啓林館ウェブサイトの「小学校」ページに、教科書・教材紹介をはじめ、授業を多面的にサポートするコンテンツを掲載。各教科の教科書内容を解説したデジタルパンフレットや、授業準備に役立つ資料・情報を発信しています。

<https://www.shinko-keirin.co.jp/>

## 情報配信サービス エデュフル



▲算数 1 年

▶理科 5 年

先生の授業づくりをサポートする啓林館の情報配信サービス。授業進行に沿って、授業に役立つ実践的な情報やヒントなどを、スマートフォンやPCに定期的に配信します。

## 英語教育情報誌 KEY magazine



▼動画でまなぶリズム  
& サウンド



▲音声でまなぶフレーズ集

PCで読めるデジタルブック。「音声でまなぶフレーズ集」「動画でまなぶリズム & サウンド」が英語での会話や歌をサポートします。

## Society 5.0 時代の教育を推進

今、社会は人工知能 (AI)、ビッグデータ、Internet of Things (IoT) 等の浸透により、情報化社会の次なる社会の変革期「Society 5.0」時代を迎えようとしています。新学習指導要領でも、社会の変化が加速化、複雑化する中で、それに適応できる資質・能力を育成していくことを目指しています。啓林館では Society 5.0 における教育を見据えて、確かなサポートをしています。



# 啓林館のCSR活動

～持続可能な未来を築く～

## わくわく学習教室 (大阪本社)

近隣地域の小学生を対象に、算数・理科・英語教室などを開催。学ぶ楽しさ、面白さを伝える啓林館の地域貢献活動です。これまで130回超の実施を重ね、延べ1500名超の方に体験していただいています。



## 地域貢献企画

大阪本社・東京支社それぞれに、主に地域の子どもたちを対象とした、啓林館ならではの知的好奇心を育む地域貢献活動を展開しています。

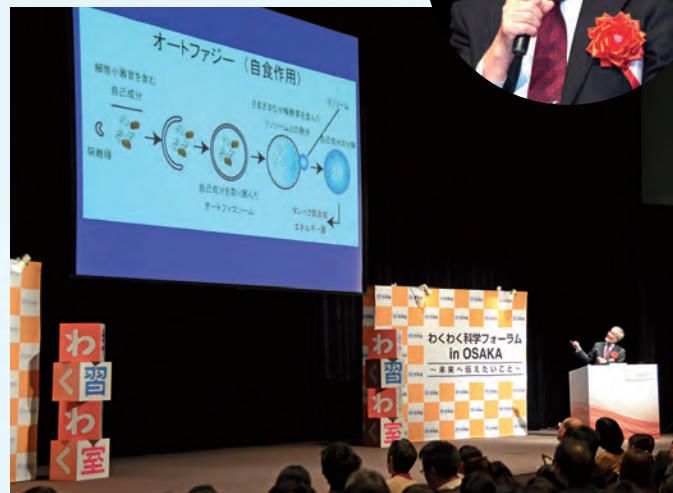
その一例が、2017年12月、ノーベル賞受賞者で弊社理科教科書著者でもある大隅良典先生をお招きして実施した、わくわく学習教室100回記念イベント「わくわく科学フォーラム」。また、東京支社にて開催する親子イベント「サイエンスカフェ」も好評を博しています。

### ●サイエンスカフェ

2018年は「親子で楽しむ秋祭り」を実施。スーパーサイエンスマジックショーやハンドクラフト体験、ミニ動物園を、近隣の小学生以下の親子の皆さん500名超に楽しんでいただきました。



### ●わくわく科学フォーラム





## JICAサポート

2008～2009年に実施されたJICAのプロジェクト研究（ケニアの初等教育における理科カリキュラム研究）へのかかわりを皮切りに、主にアジア・アフリカの途上国の教育行政担当者や教員の方々が日本で研修を受ける際の、カリキュラム分析や教科書づくりのノウハウを提供しています。「理数は世界共通語である」との考えのもと、理数科教育分野の活動をサポートします。



## SDGs (エス・ディー・ジーズ) 持続可能な開発目標

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」においてSDGsが採択され、啓林館もその趣旨に賛同して関西SDGsプラットフォームに加盟しています。

SDGsの17の目標のなかでも「質の高い教育をみんなに」という目標は、啓林館にとっても重要なテーマ。教科書・教材の開発や先生方へのバックアップなどを通じて、真摯に取り組んでいます。



これからの社会で役立つ力を  
養う中高生向け教材「課題研  
究メソッド」「課題研究  
メソッド Start Book」で  
SDGsを紹介しています。



## ICTルーム (東京支社)

電子黒板や短焦点プロジェクタ、書画カメラなどを備えた環境を整備。東京メトロ南北線「東大前」駅から徒歩3分のアクセスの良さを生かし、先生方の教育活動や教育研修の場として活用していただいています。



▲授業力をみがく講座

## インターンシップ<sup>o</sup> (職場体験・職場見学)

大阪本社では、2013年より中学生以上を対象にインターンシップを受け入れ、編集や校閲などの業務体験の機会を提供しています。また、東京支社ほか各支社でも修学旅行生の班別行動などで職場見学を受け入れ、キャリア教育の推進に協力しています。



# Q&A

## ② 今の小学校教育のキーワードとその意味

ますます多様化が進むこれからの社会を生きる子どもたち。

その学ぶ力、生きる力を育む、小学校教育でホットなキーワードを集めてみました。

## Q1 スタートカリキュラムとは？

**A** 小学校へ入学した子どもが、幼稚園・保育所・認定こども園などでの遊びや生活で身につけた「学び」と「育ち」

を基礎に、学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。

啓林館では、幼児期の学びや育ちを大切につなぎ、一人ひとりの子どもが自信をもって自己を発揮し、安心して学校生活を始められるように、生活科の上巻に「すたあとぶっく『がっこうだいすき あいうえお』」の単元を、また算数1年に「わくわく すたあと」のページを設けて、各教科の学びへのなめらかな移行を図っています。



## Q2 見方・考え方とは？


**A** 子どもたちは各教科の学びの中で、習得した知識を活用したり、身につけた思考力を発揮したりしながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、課題を見いだして解決策を考えたりします。その過程で、物事を捉える視点や考え方が鍛えられていきます。これが「見方・考え方」です。社会人になってからも重要な働きをするものです。

「見方・考え方」は、教科の特質に応じて異なるために、啓林館でも各教科の教科書の根幹となるテーマの1つとして位置づけています。子どもが自分の「見方・考え方」を働かせて思考することを重視した内容となっています。

## Q3 短時間学習(モジュール学習)は、なぜ必要？

**A** 外国語活動・外国語の授業は、3・4年生で年間35時間、5・6年生で年間70時間とされ、それぞれ35時間増となります。増えた時間をどう確保するかは選択肢の1つが、短時間学習(モジュール学習)。10～15分程度の短い時間を単位として、繰り返し教科指導を行う学習法です。その方法には、次の3つがあります。①45分授業の「復習的」学習として、活動の強化を図るための補完的活動とする。②45分授業と関連のある映像や動画などを活用し、まとまった英語を聞いて考える活動とする。③朝は準備の時間が確保できな

い場合があるため、お昼休み後の時間を活用する。

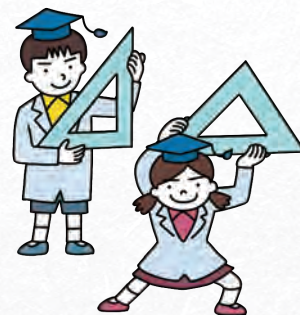
短時間学習には、集中してテンポよく効率的に学べるというメリットが期待できます。しかし、その反面、準備には教師に負担がかかります。啓林館では、英語の教科書の短時間学習に適した内容にモジュールマーク  を付けて、状況に応じて柔軟に扱えるように配慮。また算数でも、「練習」や「復習」を3つのブロックに分けて構成し、短時間で知識・技能の定着が図れる工夫を加え、短時間学習をサポートします。

## Q4 数学的(算数的)活動とは、どんなこと？

**A** 子どもたちが目的意識をもって主体的に取り組む、算数にかかわりのある様々な活動を意味しています。日常や社会の事象から見いだした問題や、算数の学習場面から見いだした問題を「解決する」活動などが含まれます。ただ教師の説明を一方向的に聞くだけの学習や、単なる計算問題を解くだけの学習は数学的活動には含まれません。

啓林館では、事象を、数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、根拠をもとに筋道を立てて考え、統合

的・発展的に考えることを大切にしています。





## Q5 キャリア教育とは？

**A** 社会が大きく変化するこれからは、子どもたちが自らの将来を描きにくい時代です。そのため、「生きる力」の育成が学校教育に求められています。確かな学力、豊かな人間性、健康・体力を備えた社会人として自立した人を育てるという観点です。小学生にとっても「学校の学習と社会とを関連付けた教育」「生涯にわたって学び続ける意欲の向上」「社会人としての基礎的資質・能力の育成」などが、キャリア教

育として捉えられています。啓林館でも、生活科では子どもたちにとって身近な地域の店や公園などを訪問したり、そこで働く人とふれ合ったり、また理科では学習内容に関連した職業も紹介したりと、学習と職業の接点を設けて、自然な形で社会や職業への意識を育んでいきます。

## Q6 小学校における「働き方改革」とは？

**A** 社会の急激な変化が進み、学校教育の改善・充実が求められる一方で、学校が抱える課題はより複雑化・困難化しています。2016年度の教員勤務実態調査の集計で、看過できない教師の勤務実態が明らかとなりました。具体的には、中央教育審議会より発表された集計（速報値）で、次のような結果が示されています。

- ◆教諭の1週間当たりの学内総勤務時間は、小学校は55～60時間未満が最も多い。
- ◆業務内容別では、小学校平日の「授業」（+27分）、「学年・学級経営」（+10分）などが増加。
- ◆年齢が若いほど、また勤務時間が長くなるほどメンタルヘルスの状態は不良となる傾向がみられる。

そして、その対策としては以下の4つの検討の視点が示されました。

- 学校・教師が担う業務の明確化・適正化
  - 学校の組織運営体制の在り方（○委員会、○○主任など）
  - 勤務時間に関する意識改革と制度面の検討
  - 「学校における働き方改革」の実現に向けた環境整備
- これらをベースとした「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取組の徹底について」が、2018年2月に通知され、全国の教育委員会と具体的な取り組みが開始されました。

## Q7 教育の機会確保法とは？

**A** 不登校の子どもに、学校外での多様な学びの場を提供することを目的とした法律です。2016年12月に成立・公布、2017年2月に完全施行されました。制定の背景となったのは、2015年度に不登校を理由に30日以上欠席した小中学生が約12万6000人おり、全体に占める割合が1.26%と過去最高になったこと。そのうち出席日数が年10日以下の小中学生は約1万3000人に上り、対応するフリー・スクールは、

2015年3月時点で全国に474か所、少なくとも約4200人の小中学生が通っていました。不登校児童・生徒の無理な通学はかえって状況を悪化させる懸念があることから、この法律により、子どもたちの「休養の必要性」が認められ、また、学校復帰を大前提としていた従来の不登校対策を転換して、学校外での「多様な適切な学習活動」の機会を確保する施策が、国と自治体の責務となりました。

## Q8 「置き勉」って何のこと？

**A** 小学校の授業で使う教科書や教材、学用品、体育用品などが過重になることで、子どもたちの身体の不やかな発達に支障が生じかねない、という懸念や保護者からの声が高まっています。とはいえ、教科書や教材は宿題や予習・復習など家庭学習には欠かせないもの。そこで、文部科学省でも具体的な工夫例を挙げて、適切な配慮を講じるように全国の教育委員会などを通じて公立・私立の小学校に「児童生徒の携行品に係る配慮について」を通知しました。（以下一部抜粋）

- 家庭学習で使用する予定のない教材等は、児童の机の中などに置いて帰ることを認めている。



- 同じ日の授業で多くの学習用具を用いる場合には、予め数日に分けて持ってくるよう指導するなど、児童に教材等を使用する見通しを明らかにして、携行品の分量が特定の日に偏らないようにする。

## HISTORY

1946年	任意組合新興出版社を創業。 最初の出版物として小学校用自習書「国語の学習」「算数の学習」を発行。	1988年	高等学校用教科書「英語」を啓林館名で発行。
1948年	「学生年鑑」「新興の大全科」が好評を博し、全国に新興出版社の名を広める。	1990年	塾市場に本格的に参入。
1949年	株式会社新興出版社に改組。	1992年	ニューメディア商品の開発に着手。
1951年	啓林館名にて小学校用教科書「理科」「算数」を発行。	1994年	作文添削教材システム(ザ・作文教室)を創刊。
1953年	東京支社を開設。	1996年	会社創立50周年。教育情報誌「CS研レポート」(年2回)を発行。
1954年	中学校用教科書「理科」「数学」を発行。	2004年	小中高・算数数学特別研究会発足。小学校英語「小学校のえいご」発行。 全国通信制高校NHK高校教育講座選定教科書に「新編理科総合A」が採用。
1956年	高等学校用教科書「理科」「数学」を発行、教科書界において<理数系の啓林館>を確立。 平野支社および九州支社を開設。	2005年	全国通信制高校NHK高校教育講座選定教科書に「情報A」「新編化学I」「新編生物I」が採用。
1959年	「テストブック」278点を発行、マスプロ、マスセールの時代を迎える。 自習書発行点数835点となる。 テレビCMを開始。	2007年	web問題作成データベース「お助け先生」のサービスを開始。 高校数学「フォーカスゴールド」発行。全国トップ校中心に多くの高校で採用される。 戦前に使われていた「尋常小学算術」の復刻版を発行。多くのマスコミに採り上げられる。
1960年	名古屋出張所を開設。	2008年	小学校・中学校用教科書全点の拡大教科書を発行。
1961年	株式会社新興出版社啓林館に商号を変更。	2010年	昭和47年から55年に使われた現代化「新訂数学」(復刻版)を発行。
1962年	中学校用「ハイテスト」133点を発行。	2011年	2012年用中学校教科書 数学と理科共に全国シェア1位を獲得。(内外教育 2011.12) 指導者用デジタル教科書を発行。
1964年	文研出版名にて「グリッパ」「アタック」シリーズを発行、学習参考書界に新風をおくる。 札幌出張所を開設。	2012年	理数教育を通じて日本の教育をサポートすることを目的として運営してきた理数教育研究所を法人化。 小学校算数教科書の英訳本「Fun with Math」を発行。
1967年	本社新社屋ビル完成。	2013年	中学校数学教科書の英訳本「Gateway to the future Math」を発行。 本社に「わくわく学習教室」の完成。 高校英語「Vision Quest」を発行。大好評を博す。
1968年	児童図書、実用書の発行を開始。	2016年	小学校理科元編集委員長である大隅良典先生がノーベル生理学・医学賞受賞。
1969年	コンピュータを導入。広島出張所を開設。	2017年	高等学校課題研究教材「課題研究メソッド」を発行。
1972年	視聴覚教材(カセット、ビデオ)を発刊。	2018年	小学校英語教材「It's FUN」シリーズを発行。 オンライン英語添削サービス「スマートレクチャーコレクション」開始。
1982年	高校学習参考書(フォーカス)・問題集(ジャイロ)を啓林館名で発行。		
1984年	中学校用「教科書トレーニング」を発行。		
1986年	小学校用「教科書びったりテスト」を発行。		

## COMPANY PROFILE

名 称	株式会社新興出版社啓林館	加入団体	日本書籍出版協会 教科書協会 教科書著作権協会 大阪出版協会 日本児童書出版協会 関西経済連合会 教科書研究センター	大阪本社	〒543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目3番25号 電話 (06) 6779-1531	東海支社	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目15番20番号 ie丸の内ビルディング1階 電話 (052) 231-0125
創 業	昭和21年6月			東京支社	〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目3番10号 電話 (03) 3814-2151	広島支社	〒732-0052 広島市東区光町1丁目7番11号広島CDビル5階 電話 (082) 261-7246
法人設立	昭和24年2月			北海道支社	〒060-0062 札幌市中央区南二条西9丁目1番2号サンケン札幌ビル1階 電話 (011) 271-2022	九州支社	〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目5番6号ハイビルズビル5階 電話 (092) 725-6677
資 本 金	1億円						
代 表 者	代表取締役社長 佐藤論史						
社 員 数	200名						